

科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 2 年 5 月 11 日現在

機関番号：64401

研究種目：若手研究(B)

研究期間：2016～2019

課題番号：16K16896

研究課題名（和文）20世紀前半ペルシア湾における「奴隷解放調書」の研究

研究課題名（英文）Study on "Manumission Papers" in the Early 20th Century Persian Gulf

研究代表者

鈴木 英明 (Suzuki, Hideaki)

国立民族学博物館・グローバル現象研究部・助教

研究者番号：80626317

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,100,000円

研究成果の概要（和文）：本研究では、20世紀前半にペルシア湾各地でイギリス領事館や現地代理人によって作成された奴隷解放調書分析のための方法論の確立、またその方法論に従った奴隷制の実態や奴隷の行動パタン
の解明を行った。3000を超える調書をこの間、収集し、それらを民話の構造分析的手法を応用しながら分析する
手法を確立することで、性別や出身地だけでなく、奴隷の婚姻歴や転売の実態も含んだ総合的な分析が可能とな
った。

研究成果の学術的意義や社会的意義

奴隷廃止は世界的共通体験であり、こんにちの私たちを取り巻く状況もその延長線上にある。そのなかで、ペル
シア湾の事例は極めて稀有であるといえる。すなわち、世界各地が奴隷廃止に動くなか、この地域は例外的に奴
隷制に対する厳しい廃止政策がとられてこなかった。この地域の奴隷制の実態を奴隷自身に着目して解明するそ
の方法論的基礎を本研究では築いた。これは奴隷研究のみならず、自ら記録を残さなかった人々の「生」へとア
プローチする手法としても応用可能であると考えられる。

研究成果の概要（英文）： This study established analytical method applied on manumission
certificates which were recorded by British consulates and its native agents around the Persian Gulf
in the early 20th century. Following the above mentioned method, it analyzed the local slavery and
behavioral pattern of slaves. The principal investigator collected more than 3000 certificates kept
in various archives in UK and India, and established the method applying structural analysis of folk
tales. With that method, it enables researchers to make comprehensive analysis including not only
sex and birth place of slaves but also marriage history and history of reselling.

研究分野：歴史学

キーワード：ペルシア湾 インド洋 奴隷制 奴隷制廃止

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

近年の奴隷制・交易研究(以下、奴隷研究)の大きな特徴として、対象する時空間の拡大と新資料とそれを用いる方法論の確立、それらに伴う既存の基本概念への再検討がある。とりわけ、で目覚ましいのが、地域的にはインド洋海域であり、時間軸については、特に法的な奴隷制廃止が実質的な奴隷たちの解放をもたらさなかった事例や、廃止によって解放された奴隷たちの労働力を補うべく新たに導入された制度も研究の視座に取り込まれつつある。これらの研究によって、が推進され、たとえば、自由と奴隷(ないしは拘束労働 bonded labour)の境界は極めて曖昧であり、単純に自由の対立概念として奴隷を措定することができないことは既に学界の共通理解となっている。

報告者は博士論文では19世紀のインド洋西海域における奴隷交易者の変容を世界史的な文脈において論じ、その後、19世紀から20世紀前半にかけて世界の大部分で奴隷制・交易の廃止が連続的に発したことを「世界的な共通体験」として捉え、この現象に着目した国際会議を組織し、その成果を論文集にまとめた(Hideaki Suzuki (ed.), *Abolitions as a Global Experience*, Singapore: NUS Press, 2016)。これらの研究に通底する報告者の関心とは、地域史と世界史との接点がどこにあるのか、また、個人的な経験に代表されるミクロな事象とマクロな現象(例えば、奴隷制廃止)との接点でいかなる相互作用が見られるのかといったところにある。こうした関心と前段落で述べた奴隷制・交易研究の現状への理解とが融合することで本研究の着想の基礎になっている。

2. 研究の目的

1で挙げたがへと発展していくために重要なのは、である。たとえば、Martin Klein *et al.* (eds.), *African Voices on Slavery and Slave Trade*, Cambridge, 2013はこの方面に関する最新の論文集で、新たな文字・非文字資料とそれにかかわる方法論が議論されている。本研究は、このような現状に鑑みて、上記に特に力点を置く研究である。20世紀前半のペルシア湾における奴隷制・奴隷交易の実態を奴隷解放調書に現れる奴隷の証言を用い、奴隷制の実態及び彼らの行動体系を全体的に、かつ具体的に解明する方法論の確立を目指した。

3. 研究の方法

研究の方法としては、英国図書館や英国立公文書館、さらにはインド・マハーラーシュトラ州立文書館をはじめとする各文書館に残されている奴隷解放調書を収集し、それらを構造主義民話学の形態学的手法を応用することで、複数の証言を同一の基準で分解し、それをデータベース化することで、量的分析に耐えうるデータベースを構築する。

4. 研究成果

最終的に3000を超える奴隷解放調書を収集し、それらを構造主義民話学の形態学的手法を応用して作成したデータベースを作成した。この研究の開始後、カタル・デジタル・ライブラリーの公開などによって、この分野に関する注目が国際的に急激に高まった。この状況を鑑み、データベースは非公開にしてある。その成果は“Bonded labour in the first half of the

20th century Persian Gulf: A quantitative approach”と題して、ENS de Lyon - Institut d’Asie orientale-IAO で 2019 年 2 月に開催された Colloque international "Capture, Bondage, and Forced Relocation in Asia (1400-1900)"、京都精華大学で 2019 年 5 月に開催された第 56 回日本アフリカ学会研究大会において“African Diaspora in the 20th Century Persian Gulf: Preliminary Observations with Slave Narratives”で報告を行った。現在、それらに基づく論文を執筆している。また、関連する論文を 4 本刊行した。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計4件（うち査読付論文 1件/うち国際共著 0件/うちオープンアクセス 2件）

1. 著者名 鈴木英明	4. 巻 5
2. 論文標題 世界的共通体験としての奴隷廃止とそこにおけるリスク	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 多文化社会研究	6. 最初と最後の頁 367-384
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 鈴木英明	4. 巻 963
2. 論文標題 「イギリス臣民」が作り出す不条理 19世紀インド洋西海域における境界と不条理の一事例	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 歴史学研究	6. 最初と最後の頁 10-18
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 鈴木英明	4. 巻 77-2
2. 論文標題 インド洋西海域周辺諸社会における近世・近代移行期とその矛盾 奴隷制・奴隷交易の展開に着目して	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 史苑	6. 最初と最後の頁 107-126
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 鈴木英明	4. 巻 44-4
2. 論文標題 海域世界の鼓動に耳を澄ます 19世紀インド洋西海域世界の季節性	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 国立民族学博物館研究報告	6. 最初と最後の頁 591-623
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

〔学会発表〕 計13件（うち招待講演 9件 / うち国際学会 5件）

1. 発表者名 Hideaki Suzuki
2. 発表標題 Bonded labour in the first half of the 20th century Persian Gulf: A quantitative approach
3. 学会等名 Conference "Capture, Bondage and Forced Relocation in Asia (1400-1900) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 鈴木英明
2. 発表標題 20世紀初頭のペルシア湾におけるイギリス帝国と奴隸制－奴隸解放調書をめぐって－
3. 学会等名 帝国と監視研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 鈴木英明
2. 発表標題 「奴隸交易からだれが利益を得たのか? 19世紀インド洋西海域世界における奴隸交易」
3. 学会等名 現代中東地域研究レクチャー・シリーズ
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 鈴木英明
2. 発表標題 「プロセスとしての奴隸制 19世紀アフリカ東部沿岸スワヒリ社会の奴隸、自由、文明」
3. 学会等名 第116回史学会大会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 鈴木英明
2. 発表標題 20世紀前半ペルシア湾岸における奴隷解放調書の資料性の検討
3. 学会等名 日本オリエント学会第59 回大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Hideaki Suzuki
2. 発表標題 Baluchi Experience in Human Trafficking in the Early 20th Century Persian Gulf
3. 学会等名 Bonded Migration and Identity in the Indian Ocean World, 18th-20th Century (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Hideaki Suzuki
2. 発表標題 Japanese Kanga in the Context of the Indian Ocean World
3. 学会等名 Textile Pattern Designs in the Global Entanglement: Katagami, Batik, Sarasa and 'African Prints' on the Move, 1800-2000 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 鈴木英明
2. 発表標題 『イギリス臣民』が作り出す不条理 19世紀インド洋西海域における境界と不条理の一事例
3. 学会等名 2017年度歴史学研究会大会 (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 鈴木英明
2. 発表標題 奴隷制とリスク、奴隷制廃止とリスク 世界史的視点から
3. 学会等名 リスク社会をめぐる人文社会科学の超域的枠組み構築へ向けて（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 鈴木英明
2. 発表標題 奴隷制は死に絶え行くのか 19世紀インド洋西海域世界の奴隷制の変容
3. 学会等名 立教大学文学部史学科主催公開講演会「近世近代移行期の海域世界と国家」（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Hideaki Suzuki
2. 発表標題 Whose Pearls? Resource, Local Power Politics and Global Competition in the Early Twentieth Century Gulf of Aden
3. 学会等名 International Congress of Maritime History（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Hideaki Suzuki
2. 発表標題 Abolitions as a Global Experience: Abolition of Slavery and Global History
3. 学会等名 Global History in Chile and Japan（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Hideaki Suzuki
2. 発表標題 African Diaspora in the 20th Century Persian Gulf: Preliminary Observations with Slave Narratives
3. 学会等名 日本アフリカ学会第56回学術大会
4. 発表年 2020年

〔図書〕 計8件

1. 著者名 島田竜登、太田淳、熊谷幸久、松嶋明男、森永貴子、鈴木英明	4. 発行年 2018年
2. 出版社 山川出版社	5. 総ページ数 296
3. 書名 1789年 自由を求める時代	

1. 著者名 Hideaki Suzuki	4. 発行年 2017年
2. 出版社 Palgrave	5. 総ページ数 224
3. 書名 Slave trade profiteers in the western Indian Ocean	

1. 著者名 Gwyn Campbell, Ronald Kydd, James Francis Warren, Nigel Worden, Sue Peabody, Alessandro Stanziani, George Michael La Rue, Hideaki Suzuki, Sravani Biswas, Subho Basu, Steven Serels	4. 発行年 2018年
2. 出版社 Palgrave	5. 総ページ数 304
3. 書名 Bondage and Environment in the Indian Ocean World	

1. 著者名 Pedro Machado, Sarah Fee, Gwyn Campbell, Prasanna Parthasarathi, Lakshmi Subramanian, Seiko Sugimoto, Hideaki Suzuki, Steven Serels, Derek Heng, Kenneth R. Hall, MacKenzie Moon Ryan, Himanshu Prabha Ray, Gwyn Campbell, Julia Verne, Jeremy Prestholdt	4. 発行年 2018年
2. 出版社 Palgrave	5. 総ページ数 426
3. 書名 Textile Trades, Consumer Cultures, and the Material Worlds of the Indian Ocean	

1. 著者名 Manuel Perez Garcia, Lucio de Sousa, Colin Mackerras, Richard von Glahn, Hideaki Suzuki, Gakusho Nakajima, Mihoko Oka, Agnes Kneitz, Anne E. C. McCants, Carlos Marichal Salinas, Bartolome Yun-Casalilla, Nadia Fernandez-de-Pinedo, David Pickus	4. 発行年 2018年
2. 出版社 Palgrave	5. 総ページ数 352
3. 書名 Global History and New Polycentric Approaches: Europe, Asia and the Americas in a World Network System (XVI-XIXth centuries)	

1. 著者名 Alice Bellagamba, Sandra E. Greene, Martin A. Klein, Bruce L. Mouser, Pierluigi Valsecchi, Ahmadou Sehou, Eric Allina, Eric Hahonou, Felicitas Becker, Ann O' Hear, Francesca Declich, Hideaki Suzuki, Marie Rodet, Lotte Pelckmans, Paolo Gaibazzi	4. 発行年 2017年
2. 出版社 Africa World Press	5. 総ページ数 363
3. 書名 African Slaves, African Masters: Politics, Memories, Social Life,	

1. 著者名 弘末雅士、高橋秀樹、清水和裕、上田信、渡邊佳成、荷見守義、荒野泰典、和田郁子、疇谷憲洋、唐澤達之、鈴木英明、守川知子、佐々木洋子、中里成章、石川禎浩、土田映子、栗田和明	4. 発行年 2018年
2. 出版社 春風社	5. 総ページ数 350
3. 書名 海と陸の織りなす世界史 港市と内陸社会	

1. 著者名 David Ludden, et al.	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Oxford University Press	5. 総ページ数 xxx
3. 書名 Oxford Research Encyclopaedia of Asian History	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
--	---------------------------	-----------------------	----